

推薦の言葉



衆議院議員 小沢一郎

小沢一郎です。  
私の同志である末次精一君は、先当選させていただいて以来、衆議院 国土交通委員会を中心として、実に精力的に政務に取り組んできました。

とにかく人とのネットワークを作るのが得意でさまざまな難しい仕事をこなしています。

地元長崎の自治体の皆様方とも積極的に政策勉強会を開催するなど、道路をはじめとするインフラ整備や生活環境の改善等にも全力で取り組んでおります。

人の話をよく聞き、必ず現場を回って自分の目で確かめる、それが末次君の政治信条です。

彼はかつては私の秘書も務めるなど、既に長い付き合いです。

とにかく真面目で、人情味溢れる人物です。

どうか皆様方の手で、引き続き国政の場で活躍し、地域で汗を流せる立派な政治家として、お育てをいただきたいと思っております。

現在、私たちは、腐敗した自民党政権を打ち倒し、「国民の生活が第一」の政治を早期に実現すべく、「政権交代」を目指して全力で闘っております。こうした中、同じ目的を持つ同志である彼は、私たちにとってかけがえのない存在です。

次回も絶対に勝ちあがってもらわねばなりません。

どうか、末次精一君に、皆様方より一層の御指導・御支援を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。



三津川一成

元(株)センチュリー21・ジャパン 代表取締役社長  
元(一社)日本フランチャイズチェーン協会 副会長

まず感じるのは、末次精一は“自分の利益、欲得のために仕事をしていない”ということです。

日頃彼が言っている、“政治は暮らしをよくするためにある”という言葉にしたがって、地域防災としての空き家対策や観光立国となるためのインバウンド誘致など、地域の問題に対して極めて具体的な活動をしているように思います。その背景には“信念”があると思っています。

京都大学を卒業し、日本を代表する大手企業に就職して、米国に技術指導に出かけるなど、将来を嘱望されていたにもかかわらず、政治の世界に飛び込み、それから30年近くも苦勞して、国会議員となりました。

日本のため、地域のためにという信念があるからこそ、なせる業だと思っております。これまでの経験を活かし、彼の信念をより形あるものにするため、さらに活動の場を与えてやってほしいと切に願っております。

60歳という年齢も、実のある政治家になれる年齢であると期待している次第です。

何卒、皆さまのお力添えで、末次精一の支援の輪を広げていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

長崎から政治を変える！



プロフィール

長崎県佐世保市生まれ  
藤原幼稚園 卒園  
福石小学校、八幡小学校 卒業  
清水中学校 卒業  
青雲高等学校 卒業

[最終学歴]

京都大学 工学部(学士)  
長崎大学大学院 経済学研究科(修士)

職歴・政治活動

川崎製鉄(米国で技術指導)  
衆議院議員小沢一郎 秘書  
障がい者就労継続支援 B 型事業所 理事長  
長崎県議会議員 2 期(議会運営委員長を務める)  
衆議院議員 1 期(立憲民主党)

地域活動

保護司  
佐世保工業高校(定時制)ETA 役員

スポーツ歴

サッカー(川崎製鉄社会人サッカー部)  
新極真空手(長崎県大会出場)



すえつぐ精一後援会事務所

〒857-0016  
佐世保市俵町6-21(俵町バス停前)

TEL 0956-37-3535

FAX 0956-24-4811

©すえつぐ精一後援会/無許可の転載、複製、転用等を禁じます。



前衆議院議員

すえつぐ精一

# 長崎から 政治を 変える!

利権政治を許さず、  
政治を国民の手に取り戻す

物価は上がる一方で、国民の所得は横ばいの状況が続いています。これは自民党政権の政策の失敗であり、国民の生活をないがしろにした利権政治が続いているからに他なりません。

すえつぐ精一は、特定の人や企業にしか実感できない地域振興ではなく、全ての市民の皆様の実感できる地域振興に取り組み、何よりも、安心して暮らせる生活を守ります。



すえつぐ精一は、生活者の声を大切にして、国民の暮らしを第一に考える政治を実現します!

長崎県民の安心・安全・豊かな暮らしを守るために…

政策  
1

すえつぐ精一は、物価高対策として

- 消費税減税と時限的な消費税減税を行います。
- 農業従事者・漁業従事者への個別所得補償を行います。
- 新自由主義から脱却し、大企業優遇から中小企業の振興へ転換を図ります。

政策  
2

すえつぐ精一は、安心して暮らせる医療・介護・福祉サービスを実現するために

- コロナの教訓を活かし、新たな感染症へ迅速に対処できる医療体制を構築します。
- 介護制度の安定と質の向上を図るため、介護士の所得の倍増に取り組みます。
- 障害者福祉と高齢者福祉の融合を図り、安心して老後を迎えることが出来る制度を構築します。

政策  
3

すえつぐ精一は、将来を担う子ども・若者に対する支援として

- 奨学金返済額の軽減制度を拡充します。
- 貧困世帯の子どもたちへの各種支援策の充実を図ります。
- 社会的養護が必要な子どもたちへの各種支援策の充実を図ります。



政策  
4

すえつぐ精一は、利権政治によって廃れた県北や離島の暮らしを向上するために

- 観光による経済効果を高めるため、インバウンド振興の強化に取り組みます。
- 2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、地域に還元する再生可能エネルギー事業を支援します。
- 有人国境離島法を最大限活用し、島民以外にも対象を広げ、航路・空路の大幅な低減化や高度化医療の推進に取り組みます。

政策  
5

すえつぐ精一は、県北や離島に住む人々の労働生産性の向上と生活の利便性を高めるために

- 西九州自動車道の4車線共用後の通行料金の低減に取り組みます。
- 老朽危険空き家の除却や空き家・空き地の利活用の促進に取り組みます。
- 人口減少による労働力を補うため、省力化・自動化を図る企業の支援に取り組みます。

政策  
6

すえつぐ精一は、日本が国際社会の責任ある一員として、平和で安全な世界を実現していくために

- 唯一の戦争被爆国として、あらゆる紛争に対して停戦・終戦の仲介を行っていきます。
- “戦争をしない・戦争に加担しない”国として、軍事的な「力」ではなく、外交政策による戦争回避に努めます。

